

# 地球サミット 国連持続可能な開発会議(リオ+20) 「ジャパンパビリオン」について



「リオ+20」ジャパンパビリオン実行委員会

2012年5月

## 「第1回から20年目の地球サミット リオ+20」

人類が一丸となり環境問題に取り組むべく初めて開催された第1回地球サミットから20年、今までの成果や積み残された課題を振り返り、新たに顕在化した課題を含め人類の持続可能な発展の為にグリーンエコノミーのあり方と、それを実現する枠組みを決める会議がリオ+20です。

【開催期間】 2012年6月20日～6月22日(本会議) 6月13日～24日(サイドイベント)

【開催場所】 ブラジル・リオデジャネイロ リオセントロ展示・会議場

【目標】 1992年に開催された「国連環境開発会議」から20年の節目に際し、

- 持続可能な開発に関する新たな政治的コミットメントを確保する
- 1992年から20年間の進展と成果を確認し、積み残された課題を検証する。
- 新しく顕在化しつつある課題\*を扱う。  
\*①経済／財政、②食糧、③エネルギー／燃料、④気候変動、⑤生物多様性の損失、⑥砂漠化、⑦水問題、⑧災害の多発／災害復興、⑨不平等、⑩貧困の削減。

【テーマ】

1. 持続可能な開発と、貧困撲滅の文脈におけるグリーン経済(グリーンエコノミー)  
→定義よりも、持続可能な開発／貧困削減を実現する、環境と経済の好循環を実現する具体的な政策を議論  
(グリーン経済移行のための投資と費用、指標の開発、ロードマップの提示、自由貿易・ODAとグリーンエコノミー、技術移転とベストプラクティスなど)
2. 持続可能な開発のための制度的な枠組み  
→経済、社会、環境の課題を統合し、持続可能な開発を実現するための組織や制度のあり方を議論  
(UNEPの強化、既存組織の改革や合理化、新しい組織設置、など)

【成果】 焦点を絞った「政治的文書」  
\* 条約ではないが、成果は2015年以降の国際会議に反映され、今後の国際社会の流れを作る重要な成果となる。

【スケジュール】

6月20日(水)  
10:00-13:00  
開会式  
15:00-16:30  
開会式, 全体会合  
16:30-19:30  
ラウンドテーブル①

6月21日(木)  
10:00-13:00  
全体会合  
ラウンドテーブル②  
15:00-18:00  
全体会合  
ラウンドテーブル③

6月22日(金)  
10:00-13:00  
全体会合  
ラウンドテーブル④  
15:00-18:00  
閉会式

## 「オールジャパンによるジャパン・パビリオン出展」

本会議での日本の提案を補完すべく、日本政府、企業、自治体が一体となって、持続可能な開発に関する日本のポテンシャルを世界に示します。

### ● ジャパンパビリオン開催概要

【開催期間】 6月13-24日

\* 20-22日のみ国連ID保有者限りの入場

【開催場所】 ブラジル・リオデジャネイロ  
アスリートパーク

【開催内容】 展示、セミナー等

【想定来場者】

リオ+20本会議参加者

(政府代表、国連組織代表、認定非政府組織など)、  
各国メディア、企業、NGO、ブラジル国民、など

アスリートパーク概観(ジャパンパビリオン建設予定)



### ■ ジャパンパビリオンの基本的な考え方

「持続可能な開発」に関する日本のポテンシャルを  
オールジャパンで世界に示す。

### ■ ジャパンパビリオンに込めるメッセージ

#### ● 震災からの復興と強靱な社会づくり

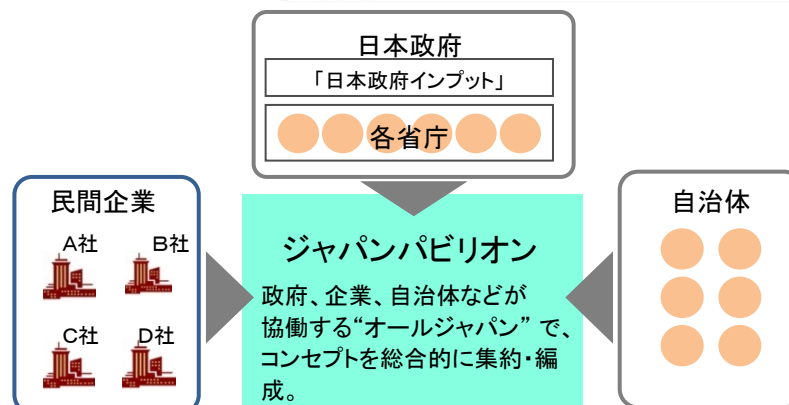
- 国際社会への謝意の表明
- 日本ブランドの発信(復興のアピール)
- 復興を通じた新たなイノベーションの創造
- (東北の環境未来都市等)

#### ● 日本の環境技術・グリーンイノベーション

- 日本企業の高い環境技術の普及、海外への移転
- 企業・自治体・政府連携での取組
- (スマートコミュニティ、3R等)の紹介
- 日本の政策パッケージの紹介

#### ● 世界の持続可能な開発に向けた日本の貢献

- 世界のグリーン経済への移行に積極的に貢献するというメッセージの発信
- これまでの世界への貢献の紹介 (ODA、MDGsなど)





# JAPAN GREEN INNOVATION

## ～復興への力、世界との絆～

環境技術や省エネ技術で世界をリードしてきた日本は、東日本大震災による地震、そして津波により、大きな被害を受けました。

この国難から、以前と同じ状態に「復旧」するのではなく、  
これを機に素晴らしい社会へと「復興」していこうという機運の高まりに応えるには、  
グリーンイノベーションが大きな力となるはずです。

日本にしかできないこと。日本だからこそできること。

私たちは独自の技術力と経験で磨いてきたグリーンイノベーションで、世界の持続可能な開発に貢献していくことにより、  
国と国、人と人の絆をより強く、深くしていきたいと思えます。

# 展示概要

- ①リオ+20に対する日本政府のインプット、  
②企業／官庁／その他団体の出展内容を参考に、展示コンテンツを6つのカテゴリーに整理し、  
オールジャパンの貢献をパビリオン全体で示します。

日本から世界へ発信する

震災の教訓

日本のソフトパワーの貢献が光る

研究・観測・人づくり

人の営みを支える  
水、森林、生物多様性

自然資本の維持活用

各種技術、インフラ、環境マネジ  
メントのショーケース

環境未来都市

世界に誇れるMade in Japan

環境技術  
(グリーンイノベーション)

日本の経験・知恵・技術を  
役立てる

世界への貢献

# 出展者一覧

## ■ 出展者一覧

### (ブース出展)

#### 【政府】

・外務省・環境省・経済産業省・内閣官房・農林水産省  
・文部科学省／地球観測に関する政府間会合(GEO)

#### 【自治体】

・東京都・滋賀県／国際湖沼環境委員会(ILEC)  
・横浜市・北九州市

### 【企業／団体／研究機関など】

・株式会社 IHI・公益財団法人 旭硝子財団・味の素 株式会社  
・独立行政法人 国際協力機構(JICA)・国際連合工業開発機関(UNIDO)  
・独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)  
・公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)・株式会社 東芝  
・戸田建設 株式会社・日本水産 株式会社・パナソニック 株式会社  
・株式会社BGCT・富士通 株式会社・株式会社 フルッタフルッタ  
・三井物産 株式会社・三菱重工業 株式会社・三菱商事 株式会社

### (セミナー出展)

#### 【政府】

・外務省・環境省・経済産業省・国土交通省／国土地理院  
・内閣官房・農林水産省  
・文部科学省／地球観測に関する政府間会合(GEO)

#### 【自治体】

・横浜市・北九州市

### 【企業／団体／研究機関など】

・公益法人 旭硝子財団・味の素 株式会社・独立行政法人 国際協力機構(JICA/  
JICA研究所/JICAブラジル事務所/北陸/九州)・国際熱帯木材機関(ITTO)  
・国連開発計画(UNDP)・国連環境計画 国際環境技術センター(UNEP IETC)  
・国際連合工業開発機関(UNIDO)・国連大学 サステナビリティと平和研究所  
(UNU-ISP)・独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)  
・創価学会インターナショナル(SGI)  
・公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)・地球環境行動会議(GEA)  
・富士通 株式会社・株式会社 フルッタフルッタ・三井物産 株式会社

(協賛) ・鹿島建設 株式会社・株式会社 小松製作所・大成建設 株式会社・株式会社 日能研

## ■ スケジュール

(五十音順)

\* 2012年5月25日現在



## 「リオ+20」ジャパンパビリオン 実行委員会

広中和歌子 委員長

- ・株式会社 IHI・公益財団法人 旭硝子財団・味の素 株式会社
- ・鹿島建設 株式会社・国際熱帯木材機関(ITTO)・国際連合開発計画(UNDP)
- ・国連環境計画 国際環境技術センター (UNEP IETC)
- ・国際連合工業開発機関(UNIDO)
- ・国連大学 サステナビリティと平和研究所 (UNU-ISP)・株式会社 小松製作所
- ・創価学会インターナショナル(SGI)・大成建設 株式会社
- ・株式会社 東芝・戸田建設 株式会社・株式会社 日能研・日本水産 株式会社
- ・パナソニック 株式会社・株式会社 BGCT
- ・富士通 株式会社・株式会社 フルッタフルッタ・三井物産 株式会社
- ・三菱重工業 株式会社・三菱商事 株式会社

### <協力>

- ・外務省・環境省・経済産業省・国土交通省/国土地理院・内閣官房
- ・農林水産省・文部科学省/地球観測に関する政府間会合 (GEO)
- ・東京都・滋賀県/国際湖沼環境委員会(ILEC)・横浜市・北九州市

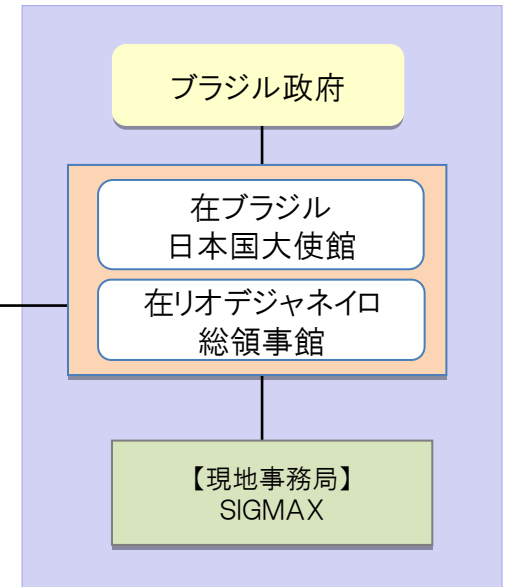
- ・独立行政法人 国際協力機構(JICA)
- ・一般財団法人日本経済団体連合会
- ・独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
- ・公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)

### <運営事務局>

財団法人水と緑の惑星保全機構

(五十音順)

連携



## 協賛に関するお申し込み・お問い合わせ

---

「リオ+20」ジャパンパビリオン実行委員会では、協賛者を募集しております。  
詳細は、下記までご連絡ください。

「リオ+20」ジャパンパビリオン実行委員会  
(財団法人 水と緑の惑星保全機構内)

運営事務局: 田上(たのかみ)・桐山(きりやま)

TEL 03-3509-9733

FAX 03-6206-1125

E-mail: [rio20@mizumidori.jp](mailto:rio20@mizumidori.jp) (代表)